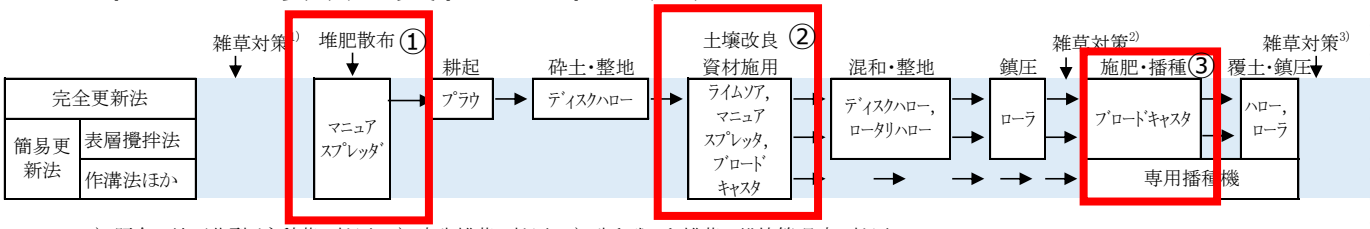
草地更新の施肥について

○堆肥・土壌改良資材・肥料の施用について



1):既存の地下茎型イネ科草の抑圧　2):実生雑草の抑圧　3):生き残った雑草の維持管理時の抑圧

図Ⅰ－7　草地更新の代表的な施工法と施工手順
（牧草・飼料作物栽培の手引き（H３０改訂）より抜粋）

①・②
草地更新時においては，家畜の健康を維持できる品質の良い牧草を作るために有機物を含んだ堆肥や土壌改良資材の施用による土づくりを行います。
②・③
土壌分析により必要となる肥料成分量を算出し，土壌改良資材や肥料を施用します。

○施肥設計の方法

草地更新時の土壌改良目標（宮城県）

項目		基準値（目標，下限～上限）		
pH		5.5	～	6.5
EC	(mS/cm)		～	
硝酸態窒素	(mg/100g)		～	
有効態リン酸	(mg/100g)	20	～	50
石灰（CaO）	(mg/100g)	200	～	300
苦土（MgO）	(mg/100g)	20	～	40
加里（K2O）	(mg/100g)	15	～	30
CEC	(mg/100g)	20	～	30
塩基飽和度	(%)	60	～	80
石灰/苦土比		3	～	5
苦土/加里比		2	～	5

左表と土壌分析の結果を照らし合わせることで，必要となる施肥量を算出することが出来ます。

左表：牧草・飼料作物栽培の手引き（H３０改訂）宮城県農政部畜産課より表の一部を抜粋

○土壌分析



土壌分析をご希望される場合，別添資料（「土を持ち込む方へ（お願い）」）に記載の通りサンプリングをし，普及センターへお持ち込みいただければ，２週間～４週間ほどで土壌分析の結果がでます。

参考：分析に使用する土の量（薄く広げた場合の量のイメージ）

○問い合わせ先

大河原農業改良普及センター	先進技術第一班	Tel:0224-53-3496
亘理農業改良普及センター	先進技術班	Tel:0223-34-1141
仙台農業改良普及センター	地域農業第一班	Tel:022-275-8320